



特定非営利活動法人

# 子どもの村東北

発行：2014年4月10日  
発行責任者：飯沼 一宇  
仙台市青葉区中央 2-7-30 角川ビル 402

News Letter Vol.6

## ☒「子どもの村東北」建設始まる、一層のご支援を！

3月24日、子どもの村東北は、仙台市太白区茂庭台の建設地において、新築工事の起工式を執り行い、待望の建設がスタートしました。本年は第1期工事として村の中核となるセンターハウスと、育親と子どもたちが日常生活を営む家族の家3棟を建設します。

式には、青麻神社の鈴木雅香宮司を斎主に迎え、地権者である仙台市子供未来局、宮城県子育て支援課、茂庭台地域、子どもの村福岡などから参列者を迎えて、厳かに工事の安全、完成後の繁栄を祈願いたしました。

第1期工事の完成は、9月末を予定しています。その後開村準備を進め、村の開村式を12月に計画しています。なお、家族の家2棟を建設する第2期工事は、建設資金の目途が立ち次第取り掛かることとしておりますが、開村後、2年以内の着工を目指していきます。

今回の第1期工事の建設費は、昨今の建設資材や人件費の高騰で当初の予定額を大きく上回り、約2億2千3百万円の見込みです。これまでに、多くの個人、企業・団体の皆様から多額のご寄付を頂いているのに加え、公益財団法人JKA様から大きな額の補助や三光不動産株式会社様、イケア・ジャパン株式会社様からの家族の家のご提供、日本小児科医会様からの家族の家建築費のご提供をいただきました。また株式会社LIXIL様から設備・資材をご提供いただいております。

しかしながら、現時点で、建設費の確保はまだ十分でなく、総額の2割弱にあたる4千万円程度を今後確保していかなければならない状況です。子どもの村としましては、より一層広く社会に協力・支援の呼びかけをしていく計画です。皆様方からもお力添えをいただきますようよろしくお願い申し上げます。



## ☒「子どもの村東北」体制作りスタート！

子どもの村の建設が始まると同時に、「村長」「育親」「育親アシスタント」の募集も行い、12月の開村に向けて村の体制作りが本格的に始まりました。まず、3月には「育親」の募集が行われ多数の応募を頂きました。育親になると、家が無償貸与され、児童相談所から委託された子どもを育てていきます。養育に必要な生活費と里親手当（市、県から措置費として）の他に、本法人から生活支援費が支給されます。村長や育親アシスタント、医師や臨床心理士などがサポートしていきますので経験のない方でも可能です。育親に関しては今後を見据えて第2期募集を5月31日締切で行います。

また、村の責任者として村の運営にあたり、児童相談所や関係機関、実親との連絡調整も行う「村長」を、5月15日締切で公募します。さらに、「育親アシスタント」を5月31日締切で募集を行います。育親アシスタントにおいては、保育士資格や看護師資格などをお持ちの方のご応募にも期待しています。いずれも、国際NGO「SOS子どもの村」の養育理念に理解がある方で、原則子どもの村に居住可能な方が対象です。

職種により、業務内容・採用時期等が異なるため詳しくはホームページをご覧ください。事務局までお問合せください。

【担当理事：卜藏 / 事務局：菅原】

## 第5回もうひとつの絆フォーラムは盛況のうち終了しました

共催：宮城県なごみの会・仙台市ほほえみの会・  
子どもの村東北・子どもの村福岡・宮城県・仙台市

2月8日は半世紀ぶりの大雪にもかかわらず93名の方にご参加頂きました。

基調報告では、仙台市児童相談所の梶原昭宏係長より、「里親さんを待っている子どもたち」として、仙台市児童相談所の取り組み体制や社会的養護に関する状況について報告していただきました。

政令指定都市ならではの地域特性や震災以降の状況や、単身世帯や核家族が多いという特徴があることから、実際の委託措置の内容にも市外とは差異が見られることなどについてご説明頂きました。具体的には、親の病気などで子育てを気軽に頼める人がいないなど、子どもたちが学校に通える校区に里親がいると良いのではないかと述べられていました。



仙台市児童相談所  
梶原 昭宏 係長

また、基調講演では、2003年フジテレビで放送されて話題になった「ぶどうの木」の著者であり、東京都小規模住居型児童養育事業「坂本ファミリー」養育者、里親ひろば ほいっぷ代表である坂本洋子氏から、28年間で16人の里子さんと暮らしてきたことから気付かされた様々な経験談を聞くことができました。坂本洋子氏とえば、来場した皆さん誰もが知る方。講演の内容は、実体験に基づく内容で、日々の出来事や、子ども達から与えてもらえる喜びが伝わり、里親とこれから里親を目指す方にとって勇気づけられる内容でした。



坂本ファミリー  
里親ひろば ほいっぷ代表  
坂本 洋子 氏

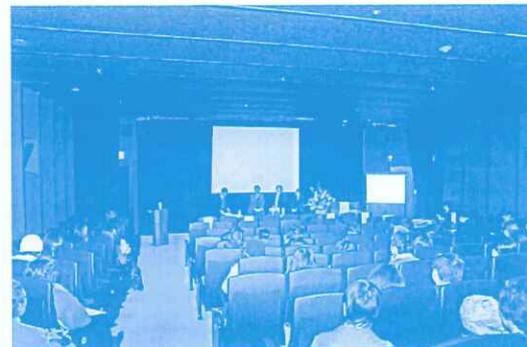
さらに、坂本ファミリーの山之内歩氏からは、坂本ファミリーで暮らしてきた子どもの立場からの話やこれからの展望を聞くことができました。学校でのこと、大学進学と措置延長、銀行口座開設などの日常生活において困ったことを具体的に例をあげ、どのように乗り越えてきたかを伝えてくれました。歩さんの今後の目標は、里子同士が主体となった居場所づくりです。この内容は、2月16日の日本テレビ系列「NNNドキュメンタリー」で一部ご紹介されております。

里子さんから直接話を聞ける機会はとても貴重です。それだけに実名で講演して下さった山之内さんの思いを考えると、里子と里親についてもっと正しく理解して欲しいとの強いメッセージを感じる貴重な時間となりました。



坂本ファミリー  
里親ひろば ほいっぷ  
ほいっぷジュニア代表  
山之内 歩 氏

その後、トークセッションが行われました。進行は山崎剛理事（みやぎ心のケアセンター副センター長）。そして、仙台市ほほえみの会から中嶋さん、宮城県なごみの会からは伊藤さんが登壇して下さいました。里親になったきっかけ、子どもとの出会いの時（マッチング）、そして共に暮らしている中での様々なエピソード、今後の課題などについて話していただき、坂本さんも交えて有意義なトークセッションになりました。アンケートの中には、「もっと聞きたかった」などの感想も多く寄せられており、関心の高さが感じられました。



トークセッションの様子



## 子どもの村東北 第3期公開講座（里親専門研修）のご案内

本講座は、「子どもの村東北」のスタッフとして子どもを養育する育親（里親）・アシスタントを希望される方、また、里親さんをはじめとする家族と暮らせない子どもの養育に関心のある方のために企画しました。是非、ご参加ください。

- ★ 主 催 : 子どもの村東北
- ★ 共 催 : 日本SOS子どもの村・子どもの村福岡
- ★ 後 援 : 宮城県なごみの会・仙台市ほほえみの会
- ★ 参加費 : 無料（資料代として500円/1講座）  
「子どもの村東北」公開講座にお申込済（資料代1,000円支払済）の方は申込不要です。
- ★ 託 児 : 託児あり（要予約・無料）※飲み物・おやつは各自ご持参下さい。
- ★ 申込方法 : 申込用紙に必要事項を記入の上FAX下さい。または、電話やメールでのお申込も可能です。

	日 時	会 場	内 容
第4回	8月30日（土） 13:30～16:30	戦災復興記念館 4階第2会議室	「発達障害、被虐待の子どもをどう養育するか」 講師：横山 浩之 氏 （山形大学医学部看護学科 教授）
第5回	9月 7日（日） 13:30～16:30	戦災復興記念館 4階第1会議室	「私は育てられた、私は育てる（仮）」 講師：森 茂起 氏 （甲南大学 教授）

## 多くの企業・市民の皆さまに一層のご支援をお願いいたします

—— ボランティアも募集中！ ——

### 募金箱見本



### ■支援方法1：支援会員として継続的な支援寄付により支えてください。

#### ◎個人の方

寄付額は任意ですが、年間3,000円以上でお願い出来れば幸いです。

#### ◎企業・団体の方

寄付額は任意ですが、年間30,000円以上でお願い出来れば幸いです。

### ■支援方法2：ご寄付をお願いいたします。

金額は問いません。いつでもお受けいたします。

### ■支援方法3：募金箱設置をお願いします！

幅広い人々に支えてもらうために店頭や受付、待合室、休憩室などにリーフレットとともに置かせてください。約縦10センチ×横10センチ×高さ20センチの募金箱です。ご連絡をお待ちしております。

### ◆ご寄付いただいた企業・団体のみなさま（2014年2月～2014年3月末）

\*敬称略・順不同

医療法人社団伊藤医院 伊藤明一・ギャラリースペース湯の街たびの好日館 会長 阿部真也・日本音楽財団・株式会社  
オフィスラフトQUA・九州電力労働組合福岡支部・SAVE SENDAI 311・全国パーキンソン病友の会宮城県支部・高森子  
どもの未来応援団・仙台青葉学院短期大学子ども学科・仙台パイロットクラブ・原田治子ピアノチャリティコンサート・  
Freundeskreis Tsunami-Waisen KIBOU e.V・仙台ココ・コーラボトリング株式会社

### ◆支援会員

\*個人会員 341名

\*団体会員 13 企業・団体

2014年3月末現在

WEB & Facebook へアクセス



URL

<http://soscvtohoku.org/>

子どもの村の今をご覧ください



Facebook

<https://www.facebook.com/soscvtohoku>

## 特定非営利活動法人 子どもの村東北

〒980-0021 仙台市青葉区中央 2-7-30 角川ビル 402

TEL : 022-748-6936

FAX : 022-748-6931

E-mail : [tohoku@soscvtj.org](mailto:tohoku@soscvtj.org)